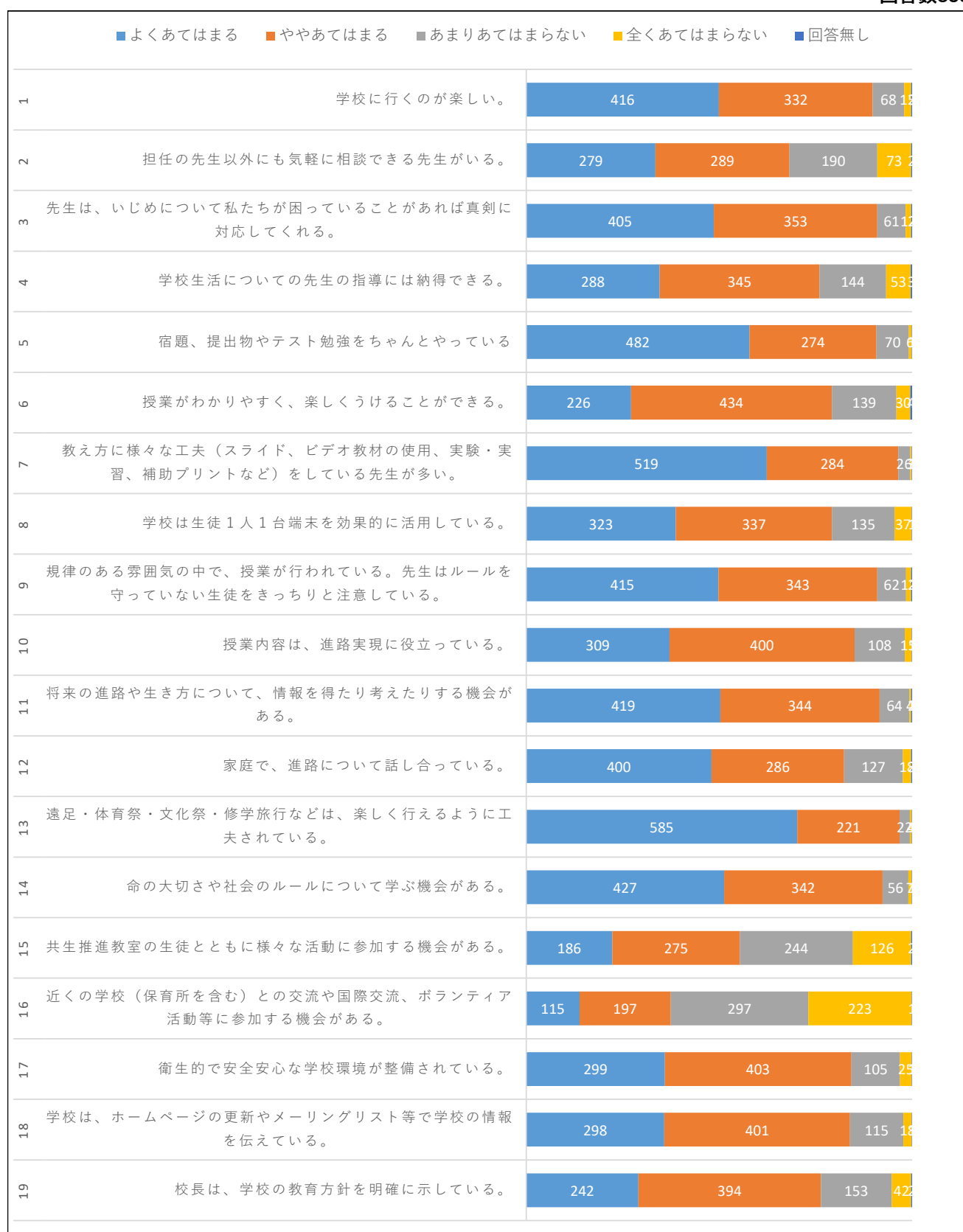


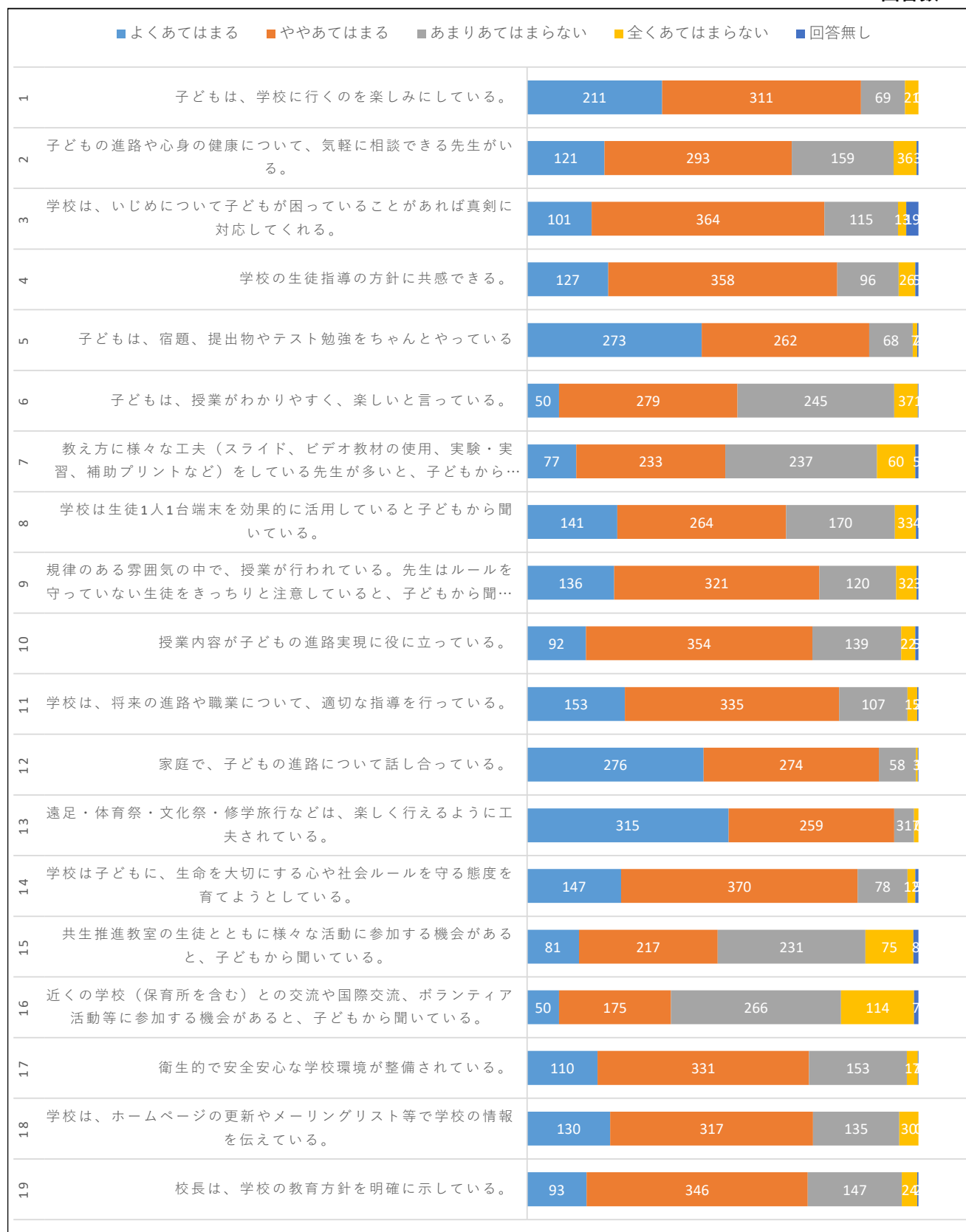


令和7年度学校教育自己診断

令和7年12月19日実施

保護者

回答数612



令和7年度学校教育自己診断

令和7年12月19日実施

教職員

回答数61

		■よくあてはまる	■ややあてはまる	■あまりあてはまらない	■全くあてはまらない	■回答無し
1	生徒は、楽しく通学していると思う。	26	32	30	12	0
2	教育相談体制（不登校・修学困難も含む）が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談できる体制が整っている。	22	33	5	1	0
3	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	27	30	4	0	0
4	生徒の問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている。	23	30	7	1	0
5	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	15	35	11	0	0
6	学習内容・指導計画・評価方法について教科でよく話し合っている。	18	28	14	1	0
7	自分は、ICTの活用やグループ討議等により、思考力を高め、言語活動を重視した授業を行っている。	14	33	13	0	0
8	授業等で生徒1人1台端末（CHROMEBOOK）を効果的に活用することができる。	10	28	22	1	0
9	規律のある雰囲気の中で授業が行われており、自分はルールを守っていない生徒をきっちりと注意している。	21	36	4	0	0
10	生徒の進路実現に役立つよう授業計画を行い、実行している。	22	32	7	0	0
11	学校は、生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	19	37	5	0	0
12	他教科を含む教員の間で、授業見学や授業方法の意見交換などを行い、教育力の向上に取り組んでいる。	7	18	32	4	0
13	学校行事が生徒にとって魅力あるものになるよう、工夫・改善を行っている。	23	36	0	2	0
14	様々な人権についての理解を深め、色々な教育活動で工夫し、対応している。	13	39	9	0	0
15	共生推進教室について、コーディネータを中心に組織的に対応できている。	24	28	8	1	0
16	学校は、近隣の学校（保育所含む）との交流や国際交流、ボランティア活動等を積極的に行っている。	11	30	17	3	0
17	衛生的で安全安心な学校環境が整備されている。	12	37	10	2	0
18	学校は、教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への発信に努めている。	10	40	9	2	0
19	校長は自らの教育方針や学校運営についての考え方を明らかにしている。	12	39	9	1	0
20	学校運営、教育環境の整備等に校長のリーダーシップが発揮されている。	9	38	11	3	0
21	教育活動全般にわたる評価を行い、次の年度の計画に活かしている。	4	45	9	3	0
22	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	17	31	12	1	0

令和7年度 学校教育自己診断（分析と対策）

学校教育自己診断の結果と分析【令和7年12月実施】

1. 生徒・保護者とも肯定的回答が上昇している項目

- 「1. 学校に行くのが楽しい」
「3. 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」
「12. 家庭で、進路について話し合っている。」
「14. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」
「15. 共生推進教室の生徒とともに様々な活動に参加する機会がある。」
「16. 近くの学校（保育所を含む）との交流や国際交流、ボランティア活動等に参加する機会がある。」

生徒		保護者	
昨年度 87.3%	→ 本年度 89.8% (+2.5)	昨年度 82.5%	→ 本年度 85.3% (+2.8)
昨年度 89.0%	→ 本年度 91.0% (+2.0)	昨年度 75.9%	→ 本年度 76.0% (+0.1)
昨年度 80.5%	→ 本年度 82.3% (+1.8)	昨年度 88.3%	→ 本年度 89.9% (+1.6)
昨年度 89.3%	→ 本年度 92.4% (+3.1)	昨年度 84.0%	→ 本年度 84.5% (+0.5)
昨年度 52.7%	→ 本年度 55.3% (+2.6)	昨年度 47.3%	→ 本年度 48.7% (+1.4)
昨年度 35.0%	→ 本年度 37.4% (+2.4)	昨年度 35.4%	→ 本年度 36.8% (+1.4)

2. 1以外で生徒または保護者で肯定的回答が80%以上の項目

- 「5. 宿題、提出物やテスト勉強をちゃんとやっている」
「7. 教え方に様々な工夫（スライド、ビデオ教材の使用、実験・実習、補助プリントなど）をしている先生が多い。」
「9. 規律のある雰囲気の中で、授業が行われている。先生はルールを守っていない生徒をきっちりと注意している。」
「10. 授業内容は、進路実現に役立っている。」
「11. 将来の進路や生き方について、情報を得たり考えたりする機会がある。」
「13. 遠足・体育祭・文化祭・修学旅行などは、楽しく行えるように工夫されている。」
「17. 衛生的で安全安心な学校環境が整備されている。」
「18. 学校は、ホームページの更新やメーリングリスト等で学校の情報を伝えている。」

生徒		保護者	
昨年度 90.9%	→ 本年度 90.8% (-0.1)	昨年度 85.7%	→ 本年度 87.4% (+1.7)
昨年度 95.4%	→ 本年度 96.4% (+1.0)	昨年度 52.3%	→ 本年度 50.7% (-1.6)
昨年度 91.3%	→ 本年度 91.0% (-0.3)	昨年度 74.5%	→ 本年度 74.7% (+0.2)
昨年度 82.3%	→ 本年度 85.1% (+2.8)	昨年度 73.0%	→ 本年度 72.8% (-0.2)
昨年度 91.0%	→ 本年度 91.6% (+0.6)	昨年度 80.2%	→ 本年度 79.7% (-0.5)
昨年度 94.8%	→ 本年度 96.7% (+1.9)	昨年度 94.7%	→ 本年度 93.8% (-0.9)
昨年度 84.7%	→ 本年度 84.3% (-0.4)	昨年度 75.7%	→ 本年度 72.1% (-3.6)
昨年度 87.6%	→ 本年度 83.9% (-3.7)	昨年度 80.3%	→ 本年度 73.0% (-7.3)

3. 教職員で肯定的回答が昨年比10%以上、上昇した項目

- 「19. 校長は自らの教育方針や学校運営についての考え方を明らかにしている。」
「20. 学校運営、教育環境の整備等に校長のリーダーシップが発揮されている。」
「21. 教育活動全般にわたる評価を行い、次の年度の計画に活かしている。」

昨年度 54.2%	→ 本年度 83.6% (+29.4)
昨年度 47.5%	→ 本年度 77.1% (+29.6)
昨年度 66.1%	→ 本年度 80.4% (+14.3)

4. 昨年度より生徒または保護者の肯定的回答が大きく下降した項目

- 「6. 授業がわかりやすく、楽しくうけることができる。」
「8. 学校は生徒1人1人端末を効果的に活用している。」
「17. 衛生的で安全安心な学校環境が整備されている。」
「18. 学校は、ホームページの更新やメーリングリスト等で学校の情報を伝えている。」
「19. 校長は、学校の教育方針を明確に示している。」

生徒		保護者	
昨年度 78.3%	→ 本年度 79.2% (+0.9)	昨年度 58.0%	→ 本年度 53.8% (-4.2)
昨年度 82.4%	→ 本年度 79.3% (-3.1)	昨年度 69.2%	→ 本年度 66.1% (-3.1)
昨年度 84.7%	→ 本年度 84.3% (-0.4)	昨年度 75.7%	→ 本年度 72.1% (-3.6)
昨年度 87.6%	→ 本年度 83.9% (-3.7)	昨年度 80.3%	→ 本年度 73.0% (-7.3)
昨年度 82.6%	→ 本年度 76.4% (-6.2)	昨年度 71.6%	→ 本年度 71.7% (+0.1)

5. 分析と対策

- 本校の特色として掲げている「学習・進路」「学校行事」「部活動」「共生推進教室」に該当する項目において、生徒・保護者・教職員において評価を得ている。
教科指導、進路指導、自主的な活動、他者を思いやることのできる豊かな人間性・社会性の育みに反映されていることが見える。
教職員のいじめに対する対応、教育相談・支援教育体制、人権教育について、組織的な対応も高まり、安心で安全な学校づくりへと効果が出ている。
- 生徒は「生徒に応じて授業レベルやスピードを細かく調整してくれる授業」を、保護者は「知識にこだわらず人間性や社会性を養ってくれる授業」を、教職員は「生徒の進路希望が実現できるよう学力を高めてくれる授業」を望んでいる。授業内容は、進路実現に役立って感じていることから、少しでも多くの内容を理解したい思いがある。保護者からは、いろいろな経験を積むことができる授業を期待する記述回答も見られた。
教職員間で教科内の指導計画については話し合いながら授業を進めているが、他教科との授業見学や授業方法の意見交換については十分に実施できていないところもある。
教科横断型授業を研究しつつ、知識のつながりをより意識した授業に努めたい。
- 学校の情報発信について、多くの保護者の方にホームページやブログ等を見ていただいている。より情報を発信できるように、連絡ツール等について検討する必要がある。
- 学習支援では、海外語学研修の再開、国内でのオンライン交流と幅広く実施することができた。海外の文化に触れ、様々な体験の中で多くのことを学び、参加者の英語への学習意欲も高まっている。
- 記述式アンケートでは、感謝の言葉や貴重なご意見を多数いただいた。学校をよくするためのご意見もあり、全教職員で共有し、協力、改善する取り組みが必要である。